

DirectLink HNALAN 対応版

560/20 エミュレータ

Ver.5.05-00

リリースメモ

Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

[Ver.5.05-00 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.5.05-00 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> Windows 11 Pro Windows 11 Enterprise 	機能追加	システム全般
2	以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2019 Standard Windows Server 2019 Datacenter 	機能追加	システム全般
3	以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> Windows 7 Professional SP1 (x86, x64) Windows 7 Enterprise SP1 (x86, x64) Windows 7 Ultimate SP1 (x86, x64) 	仕様変更	システム全般
4	以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2008 Standard SP2 (x86, x64) Windows Server 2008 Enterprise SP2 (x86, x64) Windows Server 2008 Datacenter SP2 (x86, x64) Windows Server 2008 R2 Standard SP1 Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1 Windows Server 2008 R2 Datacenter SP1 	仕様変更	システム全般
5	Windows イベントログ (Application) に、エミュレータシステムのイベントメッセージを出力する機能を追加 <ul style="list-style-type: none"> 起動・終了 通信状態 プリンタセッションのメッセージ情報 コード変換エラー 	機能追加	システム全般

No	概要	VerUp 区分	変更区分
6	バージョン情報に、アップデート情報としてパッチの管理番号を表示する機能を追加	機能追加	システム全般
7	エミュレータシステム（プロセス）が実行中の場合は、アンインストールできない仕様に変更	仕様変更	インストーラ/ アンインストーラ
8	マクロ再生の開始、およびマクロ記録の開始時に、前回指定したフォルダを開く仕様に変更	仕様変更	マクロ
9	ディスプレイセッション、プリンタセッションの利用上限を、5セッションから10セッションへ変更 （利用可能セッション数は最大10セッション）	仕様変更	ツール
10	インストール時に、保守機能「NETトレース」を採取するに初期設定を変更 ※バージョンアップインストールでプロパティの設定を引き継ぐ場合は、既存のトレース設定値を引き継ぎます。	仕様変更	ネットワーク

No	概要	VerUp 区分	変更区分
11	<p>エミュレータのプロパティ「ソフトウェアスイッチ」設定の一部の設定項目を公開（PDF形式）</p> <p>また、インストール時のエミュレータのプロパティ「ソフトウェアスイッチ」設定の初期値を変更</p> <p>※バージョンアップインストールでプロパティの設定を引き継ぐ場合は、既存のソフトウェアスイッチ設定値を引き継ぎます。</p>	仕様変更	マニュアル
12	<p>「SHIFT」+「F1」キーの押下で状況依存ヘルプを表示した場合、対象をクリック時に「応答なし」になる現象を修正</p>	バグ修正	システム全般
13	<p>コード変換テーブルが存在しないなど、コード変換テーブル関連のエラー発生時、イベントログに出力されるはずの情報が出力されない現象を修正</p>	バグ修正	システム全般
14	<p>インストール時、「設定の確認」画面の[戻る]ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正</p>	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ
15	<p>別売のCJS 拡張漢字フォントをインストールしている環境で、エミュレータのアンインストールを行うと、CJS 拡張漢字フォントのフォント登録が解除される現象を修正</p>	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ

No	概要	VerUp 区分	変更区分
16	Windows のスタートアップに登録した場合、起動できないことがある現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ
17	ジョブクローズタイマーが動作すると、プリンタセッションでアプリケーションエラーが発生する現象がある現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
18	EHLLAPI の文字入力関数「SendKey(3)」で、全角文字／半角文字が混在する文字列を入力した場合、入力エラー「HARC_LOCKED(5)」とならない現象を修正	バグ修正	API 機能
19	コードテーブル設定で、PC コードの入力指定に” 区点 JIS コード” を設定し文字コード変換の「登録」を行うと、登録確認メッセージに区点 JIS コードが正しく表示されない現象を修正	バグ修正	ツール
20	UPF 設定ツールで以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込むと、読み込み前の設定内容が表示されたままになる現象を修正 <ul style="list-style-type: none"> ・コメント欄 ・UPF 使用数 ・UPF パッドオートサイジング ・UPF パッドコメント表示 	バグ修正	ツール
21	EHLLAPI のヘルプで、メニュー名とタイトル名が異なる箇所を修正	バグ修正	ヘルプ

No	概要	VerUp 区分	変更区分
22	EHLLAPI のヘルプで、ビット位置の表記に誤りのある箇所を修正	バグ修正	ヘルプ
23	マクロコマンドのヘルプで、リターンコードに関する誤解を招く記述を修正	バグ修正	ヘルプ
24	マクロコマンドのヘルプで、「timeout コマンド」のリターンコードに関する記述に誤りのある箇所を修正	バグ修正	ヘルプ

No.12	「SHIFT」+「F1」キーの押下で状況依存ヘルプを表示した場合、対象をクリック時に「応答なし」になる現象を修正
発生条件	「SHIFT」+「F1」キーの押下により、マウスカーソルに「？」が表示された状態で、状況依存ヘルプの表示対象をクリックした場合。
障害内容	以下のプログラムがフリーズする。 ・「プリンタセッション」 ・「プリントジョブスケジューラ」 ・「マクロコントローラ」 ・「UPF 設定」
アップデート未実施時の回避策	ツールバーの「↑?(ヘルプ)」ボタンを使用して状況依存ヘルプを表示する。

No.13	コード変換テーブルが存在しないなど、コード変換テーブル関連のエラー発生時、イベントログに出力されるはずの情報が出力されない現象を修正
発生条件	コード変換テーブル関連のエラーが発生した場合。
障害内容	イベントログにエミュレータ名やセッション名などの出力されるはずの情報が出力されない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.14	インストール時、「設定の確認」画面の[戻る]ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正
発生条件	以下の操作を行った場合。 ①「ショートカットの選択」画面でチェックボックスをオフに変更 ②「設定の確認」画面に遷移 ③「ショートカットの選択」画面に戻る
障害内容	「ショートカットの選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る。
アップデート未実施時の回避策	「ショートカットの選択」画面で設定内容を再設定する。

No.15	別売の CJS 拡張漢字フォントをインストールしている環境で、エミュレータのアンインストールを行うと、CJS 拡張漢字フォントのフォント登録が解除される現象を修正
発生条件	CJS 拡張漢字フォント バージョン 3.01-01 がインストールされている環境で、アンインストールした場合。
障害内容	CJS 拡張漢字フォントが利用できない。
アップデート未実施時の回避策	CJS 拡張漢字フォント バージョン 3.01-01 を一度アンインストールし、再インストールする。

No.16	Windows のスタートアップに登録した場合、起動できないことがある現象を修正
発生条件	Windows のスタートアップにホストリンクエクスプローラ、またはセッション起動のショートカットに登録した場合。
障害内容	Windows のログオン時に自動起動ができない。
アップデート未実施時の回避策	手動による起動。

No.17	ジョブクローズタイマーが動作すると、プリンタセッションでアプリケーションエラーが発生する現象を修正
発生条件	ホストからの印刷データが複数レコードで分割され、印刷データ待ち状態となりジョブクローズタイマーが動作した場合。
障害内容	アプリケーションエラーが発生し印刷できない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.18	EHLLAPI の文字入力関数「SendKey(3)」で、全角文字／半角文字が混在する文字列を入力した場合、入力エラー「HARC_LOCKED(5)」とならない現象を修正
発生条件	以下のいずれかを行った場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・英数カナ文字フィールドに、半角文字から始まる全角文字／半角文字の混在する文字列を SendKey(3)で入力 ・漢字フィールドに、全角文字から始まる全角文字／半角文字の混在する文字列を SendKey(3)で入力
障害内容	ディスプレイセッションは入力エラーとなるが、SendKey(3)の戻り値は正常「HARC_SUCCESS(0)」となる。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.19	コードテーブル設定で、PC コードの入力指定に”区点 JIS コード”を設定し文字コード変換の「登録」を行うと、登録確認メッセージに区点 JIS コードが正しく表示されない現象を修正
発生条件	PC コードの入力指定が”区点 JIS コード”で、文字コード変換の登録を行う場合。
障害内容	登録確認メッセージに不正なコードで区点 JIS コードが表示される。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.20	<p>UPF 設定ツールで以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込むと、読み込み前の設定内容が表示されたままになる現象を修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメント欄 ・UPF 使用数 ・UPF パッドオートサイジング ・UPF パッドコメント表示
発生条件	<p>以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込んだ場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメント欄 ・UPF 使用数 ・UPF パッドオートサイジング ・UPF パッドコメント表示
障害内容	読み込み前に設定した内容が表示されたままとなる。
アップデート未実施時の回避策	設定内容を「消去」ボタンで消去する。

No.21	EHLLAPI のヘルプで、メニュー名とタイトル名が異なる箇所を修正
変更内容	<p>目次</p> <p>誤：「Visual Basic アプリケーションからの構造化機能呼び出し」</p> <p>正：「Visual Basic アプリケーションからの構造化フィールド機能呼び出し」</p>
参照先	「EHLLAPI (560/20)」－「EHLLAPI について」

No.22	EHLLAPI のヘルプで、ビット位置の表記に誤りのある箇所を修正
変更内容	<p>誤：ビット位置「HA_G08B0_INHIBITED」</p> <p>説明「×取消キー。通信チェック nnn。」</p> <p>正：ビット位置「HA_G08B0_COMMCHECK」</p> <p>説明「×取消キー。通信チェック nnn。」</p>
参照先	「EHLLAPI(560/20)」－「付録」－「OIA データ」－「OIA グループ・インディケータ」－「グループ 8 入力禁止メッセージ」

No.23	マクロコマンドのヘルプで、リターンコードに関する誤解を招く記述を修正
変更内容	リターンコード 誤：TRUE FALSE 正：true (0) false (0 以外)
参照先	「オンラインヘルプ」－「560/20 マクロコマンド」

No.24	マクロコマンドのヘルプで、「timeout コマンド」のリターンコードに関する記述に誤りのある箇所を修正
変更内容	リターンコード 誤：TRUE 成功 FALSE 失敗 正：なし
参照先	「オンラインヘルプ」－「560/20 マクロコマンド」－「timeout コマンド」

DirectLink HNALAN 対応版

560/20 エミュレータ

Ver5.03-02

リリースメモ

作成日：2018年 1月
キャノン IT ソリューションズ株式会社

Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

[Ver.5.03-02 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.5.03-02 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 Standard Edition ・ Windows Server 2016 Datacenter Edition 	機能追加	システム全般
2	以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Vista Business (x86, x64) ・ Windows Vista Enterprise (x86, x64) ・ Windows Vista Ultimate (x86, x64) 	仕様変更	システム全般
3	日立漢字コード(KEIS)90 文字コードに対応	機能追加	ツール
4	「高度な設定」の「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ
5	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
6	Windows 10 Anniversary Update (Version 1607) から Fall Creators Update (Version 1709)環境でプリンタセッションが起動しない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
7	EHLLAPI を使用したアプリケーションの起動が遅くなる場合がある現象を修正	バグ修正	API 機能
8	マクロ記録の一時停止中にマクロ中止機能を実行すると、マクロコントローラが終了しない現象を修正	バグ修正	マクロ

No	概要	VerUp 区分	変更区分
9	UPF 設定で指定した以下の略号が入れ替わって動作する現象を修正 ・ペン選択 (%K) ・IA (%U)	バグ修正	ツール
10	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正	バグ修正	ツール

No.4	「高度な設定」の「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正
発生条件	ホストリンクエクスプローラのプロパティにある「高度な設定」の「カスタマイズ」タブで、「エミュレータのプロパティ」の表示」のチェックがオフの場合。
障害内容	プロパティが選択できてしまう。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.5	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正
発生条件	「MS 明朝」のようなセリフ付きフォントが選択されている場合。
障害内容	ディスプレイの表示文字を拡大すると文字が粗く見える。
アップデート 未実施時の 回避策	フォントを「MS ゴシック」のようなセリフなしフォントに変更する。

No.6	Windows 10 Anniversary Update (Version 1607)から Fall Creators Update (Version 1709)環境でプリンタセッションが起動しない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 10 Anniversary Update (Version 1607)が適用済み ・ Windows 10 の機能で「Windows で通常使うプリンターを管理する」機能がオン ・ プリンタセッションのプロパティの出力先が「通常使うプリンター」に設定されている
障害内容	プリンタセッションが起動しない。
アップデート 未実施時の 回避策	以下のいずれかの方法を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 10 の機能で「Windows で通常使うプリンターを管理する」機能をオフにする ・ プリンタセッションのプロパティの出力先に「通常使うプリンター」以外を設定する

No.7	EHLLAPI を使用したアプリケーションの起動が遅くなる場合がある現象を修正
発生条件	EHLLAPI を使用している場合。
障害内容	EHLLAPI モジュールは起動時に EHLLAPI トレースモジュールと通信を行っているが、この通信に時間がかかることがあり、起動が遅くなる。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.8	マクロ記録の一時停止中にマクロ中止機能を実行すると、マクロコントローラが終了しない現象を修正
発生条件	他のマクロが再生していない状態で以下の手順を行った場合。 ①マクロコントローラが起動していない状態で、ディスプレイセッションからマクロ記録開始 ②「マクロ記録」中に「一時停止」し、そのまま「マクロ中止」
障害内容	マクロ記録を一時停止中にマクロ中止機能を実行すると、マクロコントローラが終了しない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.9	UPF 設定で指定した以下の略号が入れ替わって動作する現象を修正 ・ペン選択 (%K) ・IA (%U)
発生条件	UPF ボタンにエミュレータ機能キー「ペン選択」、または「IA」を割り当てた場合。
障害内容	「ペン選択」を割り当てたボタンで「IA」が動作する。または「IA」を割り当てたボタンで「ペン選択」が動作する。
アップデート 未実施時の 回避策	該当するキーを UPF に設定する際に名前を入れ替えて付ける。 [ペン選択 (%K) ⇔ IA (%U)]

No.10	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正
発生条件	コードテーブル設定で以下の手順を実行した場合。 ①テーブルの最後の数文字（2バイトコード：2文字、1バイトコード：4文字）の割り当てを変更 ②「ファイル」メニューから「新規作成」を選択して差分ファイルを新規作成
障害内容	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう。
アップデート未実施時の回避策	「新規作成」で継続して設定を行う代わりに、一旦コードテーブル設定を再起動してから設定を行う。

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

DirectLink HNALAN対応版
560 / 20 エミュレータ
バージョン 5.03 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「DirectLink HNALAN 対応版 560/20 エミュレータ」
(Ver. 5.02-01→Ver.5.03-01)において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ
致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
 - ・ Microsoft Windows 10 Pro
 - ・ Microsoft Windows 10 Pro x64
 - ・ Microsoft Windows 10 Enterprise
 - ・ Microsoft Windows 10 Enterprise x64

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
 - ・ Microsoft Windows 8 Pro
 - ・ Microsoft Windows 8 Pro x64
 - ・ Microsoft Windows 8 Enterprise
 - ・ Microsoft Windows 8 Enterprise x64

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[インストーラ関連]

- ・複数の弊社エミュレータが共存する環境でバージョンアップインストールを行うと、PCの再起動後にセッションが起動できなくなることがある。
- ・バージョンアップインストールを行うと、「ユーザ名」と「会社名」が、新規インストール時のユーザ登録画面で設定した情報からPCに登録されている情報に変更されてしまう。

[DirectLink(HNALAN 接続)関連]

- ・1つのセッションがホストに接続している状態で、接続先が不正または未設定でホストに接続できないセッションを起動すると、「セッション起動中」ダイアログが表示されたままとなる。

[プリンタ機能関連]

- ・「エミュレータのプロパティ」で行ったローカルコピーの設定が、設定後に起動したディスプレイセッションのローカルコピーの結果や「ローカルコピーのプロパティ」に反映されていない。
※「エミュレータのプロパティ」の設定を移行する設定でバージョンアップインストールを行った環境では、現象は発生しません。

[ユーティリティ関連]

- ・「エミュレータのプロパティ」のプリンタの設定およびローカルコピーの設定で、基本設定の出力先プリンタのプロパティの設定が保存されないことがある。
※出力先プリンタのプロパティは、基本設定の編集形式が「Windows プリンタドライバ」で、詳細設定の「セッション起動時に出力先プリンタ設定の反映」をチェックした場合に設定できます。
- ・拡張フォントがインストールされているにもかかわらず、「コードテーブル設定」の [オプション] メニューに“2 バイトコードの編集 - 拡張文字用”が表示されないことがある。
- ・「マクロ編集」、「ホットスポット設定」で、ツールバーを非表示にすると、メニューバーの下に不要な空間が追加される。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware Horizon View 6.1(ESXi 5.5 Update2)	Windows 7 Professional SP1	—	○
	Windows 8.1 Enterprise	○	—
	Windows Server 2008 R2 Datacenter SP1	—	○
	Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Citrix XenDesktop 7.5	Windows 7 Professional SP1	○	—
	Windows 8.1 Pro	—	○
	Windows Server 2008 R2 Datacenter SP1	—	○
	Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Microsoft VDI (Windows Server 2012 R2 Hyper-V)	Windows 7 Professional SP1	○	—
	Windows 8.1 Enterprise	—	○
	Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
VMware ESXi 5.5	Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○

○：確認済み —：対象外

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は、弊社では対応できません。それぞれのメーカー様、ベンダー様までお問い合わせください。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

Microsoft、Windows、Windows Server および Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

DirectLink HNALAN対応版
560 / 20 エミュレータ
バージョン 5.02 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「DirectLink HNALAN 対応版 560/20 エミュレータ」
(Ver. 5.01-01→Ver.5.02-01)において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ
致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[インストーラ関連]

◎以下の OS で、「ホストリンクエクスプローラ」と「ツールパネル」のショートカットをデスクトップに作成できるようにしました。

- ・ Microsoft Windows Vista Business
- ・ Microsoft Windows Vista Business x64
- ・ Microsoft Windows Vista Enterprise
- ・ Microsoft Windows Vista Enterprise x64
- ・ Microsoft Windows Vista Ultimate
- ・ Microsoft Windows Vista Ultimate x64
- ・ Microsoft Windows 7 Professional
- ・ Microsoft Windows 7 Professional x64
- ・ Microsoft Windows 7 Enterprise
- ・ Microsoft Windows 7 Enterprise x64
- ・ Microsoft Windows 7 Ultimate
- ・ Microsoft Windows 7 Ultimate x64

- ・ Microsoft Windows Server 2008 Standard
- ・ Microsoft Windows Server 2008 Standard x64
- ・ Microsoft Windows Server 2008 Enterprise
- ・ Microsoft Windows Server 2008 Enterprise x64
- ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard
- ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[インストーラ関連]

- ・ 「Windows¥system」フォルダのある OS でエミュレータのアンインストールに失敗した場合、再度アンインストールを実行するとアンインストールが終了しないことがある。

[マニュアル関連]

- ・『ソフトウェア説明書』に、リモートデスクトップサービスまたはターミナルサービスがインストールされている環境にエミュレータをインストールしようとした場合、インストールの途中でフォントの登録に失敗する現象を回避する方法が記載されていない。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware Horizon View 6.0 (ESXi 5.5 Update2)	Windows 7 Professional SP1	—	○
	Windows 8.1 Enterprise	○	—
	Windows Server 2008 R2 Datacenter SP1	—	○
	Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Citrix XenDesktop 7.5	Windows 7 Professional SP1	○	—
	Windows 8.1 Enterprise	—	○
	Windows Server 2008 R2 Datacenter SP1	—	○
	Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Microsoft VDI (Windows Server 2012 R2 Hyper-V)	Windows 7 Professional SP1	○	—
	Windows 8.1 Enterprise	—	○
	Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
VMware vSphere 5.5	Windows Server 2008 R2 Standard	—	○
Windows Server 2012 Hyper-V	Windows Server 2012 Standard	—	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Windows Server 2008 Standard	○	—

○：確認済み —：対象外

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以上

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server および Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

DirectLink HNALAN対応版
560 / 20 エミュレータ
バージョン 5.01 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「DirectLink HNALAN 対応版 560/20 エミュレータ」
(Ver.4.10-01→Ver.5.01-01) において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ
致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
 - ・ Microsoft Windows Server 2008 Standard(SP2)
 - ・ Microsoft Windows Server 2008 Standard x64(SP2)
 - ・ Microsoft Windows Server 2008 Enterprise(SP2)
 - ・ Microsoft Windows Server 2008 Enterprise x64(SP2)
 - ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard(SP2)
 - ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise(SP2)
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
 - ・ Microsoft Windows XP Professional
 - ・ Microsoft Windows XP Professional x64

- ◎必要メモリサイズが「約 256MB」になりました。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ◎セッションを起動するショートカットをデスクトップに作成できるようにしました。

[保守機能関連]

- ◎「エミュレータ保守」の保守機能を強化しました。
また、各種ツールの保守機能を「エミュレータ保守」に統合しました。
＜主な機能＞
 - ・各種トレースの採取設定
 - ・各種トレースの詳細設定（ファイルサイズ、ファイル数、採取レベル）
 - ・各種ログの採取
 - ・トレース／ログの総出力サイズ、および出力先ドライブの空き容量の表示
 - ・情報収集これにより、エミュレータのプロパティの「保守設定画面」は削除しました。
- ◎トレースを出力する処理を高速化しました。

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[インストーラ関連]

- ・ TCPLink 6680 エミュレータ Ver.4.11-01 を新規インストールまたはバージョンアップインストールすると、以下のエミュレータでホストにログオンできなくなる。
 - ・ TCPLink 日本語 3270 エミュレータ
 - ・ DirectLink DLC 対応版 日本語 3270 エミュレータ
 - ・ DirectLink HNALAN 対応版 560/20 エミュレータ
- ・ 以下の OS でインストールパスを変更してインストールすると、スタート画面からホストリンクエクスペローラが起動できない。
 - ・ Microsoft Windows 8 Pro
 - ・ Microsoft Windows 8 Pro x64
 - ・ Microsoft Windows 8 Enterprise
 - ・ Microsoft Windows 8 Enterprise x64
 - ・ Microsoft Windows 8.1 Pro
 - ・ Microsoft Windows 8.1 Pro x64
 - ・ Microsoft Windows 8.1 Enterprise
 - ・ Microsoft Windows 8.1 Enterprise x64
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter
- ・ バージョンアップインストールを行うと、正常にインストールが完了しているにもかかわらず、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」というメッセージが表示されることがある。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ 機能キーを登録した UPF キーをアサインした状態で実行されない機能キーある。

[プリンタ機能関連]

- ・ プリンタ定義で出力先を「通常使うプリンタ」に設定している場合に、プリンタセッションで「終了時の状態保存」を ON にしてプリンタセッションを終了し、OS の「通常使うプリンター」を削除／名称変更するとプリンタセッションが起動できない。
- ・ 80 バイト以上のプリンタ名のプリンタを使用すると、アプリケーションエラーが発生する。
※使用するプリンタのプリンタ名は、79 バイト以内で設定してください。

- ・出力先プリンタに **ClassDriver** を設定した場合、プリンタセッションの起動に失敗する。

[ファイル転送機能関連]

- ・ファイル転送の「受信」が正常に実行できる状態で、セッション起動時に、ファイル転送プログラムから「ディスプレイセッションが起動していません」、ディスプレイセッションから「ファイル転送が常駐できません」のエラーメッセージが続けて表示されることがある。

[ユーティリティ関連]

- ・プリントジョブスケジューラ設定でプリントジョブ出力後の処理に「指定時間後に削除」を指定しているにもかかわらず、設定した指定時間を過ぎた情報が残ることがある。

[保守機能関連]

- ・レジストリ保守ツールで [ファイル出力] をした場合、以下の項目が出力されない。
 - ・ IPv6
 - ・ マクロコントローラの表示
 - ・ プリントジョブスケジューラの表示

[API 機能関連]

- ・ EHLLAPI で、「Search Presentation Space(6)」を実行すると、EHLLAPI アプリケーションが応答しなくなる。
- ・ セッションを起動していない状態で、EHLLAPI の「Copy Presentation Space(5)」を実行すると、ランタイムエラーが発生する。
- ・ セッションを起動していない状態で、EHLLAPI の「Copy Presentation Space(5)」を、コピーの開始位置が 2 バイト文字の 2 バイト目や終了位置が 2 バイト文字の 1 バイト目になる状態で実行すると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ EHLLAPI の「Copy Field To String(34)」で、フィールド長を超える値のデータ・ストリング長を指定すると、戻りコードが「6」にならず「0」となる。

※戻りコード「6」:HARC_TRUNCATION
戻りコード「0」:HARC_SUCCESS

[制限事項]

- ・ Ver.4.10-01 より前のバージョンの TCPLink スタンダード/DirectLink との共存はできません。
- ・ プリントサーバとの共存はできません。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

デスクトップ仮想化

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware Horizon View 6.0 (ESXi 5.5)	Microsoft Windows 7 Professional SP1	—	○
	Microsoft Windows 8.1 Pro	—	○
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Datacenter	—	○
Citrix XenDesktop 7.5	Microsoft Windows 7 Professional SP1	—	○
	Microsoft Windows 8.1 Pro	—	○
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Microsoft VDI G2	Microsoft Windows 7 Professional SP1	—	○
	Microsoft Windows 8.1 Pro	—	○
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

サーバ仮想化

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 4.1	Microsoft Windows 7 Enterprise SP1	○	—
Windows Server 2012 Hyper-V	Microsoft Windows Server 2012 Standard	—	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Microsoft Windows Server 2008 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

<注意事項>

・デスクトップ仮想化について

仮想化されたデスクトップ環境にエミュレータをインストールする場合、セットアップが停止する問題が発生します。

その場合は、以下の回避策をお試しくささい。

【Horizon View】

VMware 社 Web サイトにて次の内容をご確認の上お試しくささい。

- ・VMware Knowledge Base 2091845

タイトル「Legacy applications fail to start with the VMware View 6.0 or 6.0.1 agent installed (2091845)」

【XenDesktop】

①デバイスマネージャを起動し、「Citrix Devices」の「Citrix Systems Inc. Console Mouse Device」を無効にし、OS を再起動します。

②エミュレータをインストールします。

③①の「Citrix Systems Inc. Console Mouse Device」を有効にし、OS を再起動します。

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作する必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

DirectLink HNALAN対応版
560 / 20 エミュレータ
バージョン 4.10 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「DirectLink HNALAN 対応版 560/20 エミュレータ」
(Ver.3.51-01→Ver.4.10-01) において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ
致します。

敬具

記

[概要]

- ・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
 - ・ Microsoft Windows 8 Pro
 - ・ Microsoft Windows 8 Enterprise
- ※32 ビット版アプリケーションとして動作します。
- ※デスクトップ・アプリケーションとしての動作を保証します。

- ◎IPv6 に対応しました。

[ディスプレイ機能関連]

- ◎ローカルコピーにおいて、編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の特殊文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

代替文字

- ・ | (PC コード : 0x7C) → |
- ・ ~ (PC コード : 0x7E) → ~

[プリンタ機能関連]

- ◎編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

代替文字

- ・ | (PC コード : 0x7C) → |
- ・ ~ (PC コード : 0x7E) → ~

[API 機能関連]

- ◎提供ファイルを以下の環境で作成したファイルに変更しました。
 - ・ C 言語 : Microsoft 社製 Visual C++ 6.0
 - ・ VB 言語 : Microsoft 社製 Visual Basic 6.0

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ UPF キーボードから「ジャンプ」キーまたは「前ジャンプ」キーが実行されると、セッションがハングアップする。
- ・ UPF キーボードのボタンが押下されると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ エミュレータキーボードから機能キーの実行および文字の入力が行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ 「ジャンプ」キーまたは「前ジャンプ」キーが実行されても、画面を切り替えないことがある。
- ・ ローカルコピーが行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ ローカルコピーで、ディスプレイ定義で設定された文字モードと異なる文字モードで印刷することがある。
- ・ マウス機能画面の設定が変更されても、セッションを再起動するまで設定変更を反映しない。
- ・ アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションでキーが効かないことがある。
- ・ アプリケーションに OLE オブジェクトとして埋め込んだセッションに入力された文字を画面が再描画されるまで表示しない。

[プリンタ機能関連]

- ・ 印刷が行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。

[ファイル転送機能関連]

- ・ ファイル転送が実行されると、アプリケーションエラーが発生することがある。

[ユーティリティ関連]

- ・ エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、ショートカットキーが「Alt+B」、「Alt+R」の順に押下されると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・ エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、以下のショートカットキーでフォーカスが正しく移動しない。
 - ・ Alt+L
 - ・ Alt+B
 - ・ Alt+T
- ・ レジストリ保守ツールの印刷機能およびファイル出力機能で、ソフトウェアスイッチの情報を正しく出力しないことがある。

[API 機能関連]

- ・ ディスプレイセッションに EHLLAPI または PCSAPI の関数が実行されると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・ EHLLAPI リファレンスで、「Copy OIA(13)」で使用する `qoia_struct` 構造体のメンバーに「BYTE qoia_format;」を記載していない。

[制限事項]

- ・以下の弊社エミュレータとの共存はできません。
 - ・ Ver.2.50-01 以前の SingleLink
 - ・ Ver.2.50-01 以前の DirectLink HIS 対応版

以 上

Microsoft、Windows、Visual C++および Visual Basic は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

お客様各位

キャノンITソリューションズ株式会社

DirectLink HNALAN対応版
560 / 20 エミュレータ
バージョン 3.51 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「DirectLink HNALAN 対応版 560/20 エミュレータ」
(Ver.3.50-01→Ver.3.51-01)において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ
致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
 - ・ Windows 2000 Professional

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[システム全般]

- ・ エミュレータが起動されたまま OS をシャットダウンすると、「プログラムが閉じられていません」のメッセージが表示され、メッセージ内の「強制的にシャットダウン」を選択するとアプリケーションエラーが発生する。

[DirectLink(HNALAN 接続)関連]

- ・ ログオン操作時、「お待ちください。」のメッセージが消えても画面がそのまま、ログオン操作ができなくなることがある。
- ・ エミュレータを起動し、ホストにログオンしないままにすると、通信チェック 960 になる。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ カーソル移動キーで、保護フィールドにカーソルが移動することがある。
- ・ カーソル移動キーでフィールドを移動して実行すると、次画面に遷移せずに同じ画面が表示されることがある。
- ・ ブリンクモードが“ブリンク”の場合に、ディスプレイセッションが応答しなくなることがある。
- ・ Windows Vista または Windows 7 で以下の条件をすべて満たす場合に、文字を入力すると、下線の一部や文字と隣り合った縦罫線が消えることがある。
 - ・ Windows のデスクトップのカスタマイズで「ClearType」を有効にしている
 - ・ エミュレータのディスプレイ定義で「直接描画方式」を指定している

[プリンタ機能関連]

- ・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。

[ファイル転送機能関連]

- ・ファイル転送パネルで「Microsoft XPS Document Writer」に印刷すると、文字化けする。

[ユーティリティ関連]

- ・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"LODLIB32.EXE"のアプリケーションエラーが発生する。
- ・エミュレータのプロパティのディスプレイ定義で、コードテーブル定義の「JIS コード指定」が空欄になっていることがある。
- ・レジストリ保守で、レジストリの復元に失敗することがある。
- ・レジストリ保守で「Microsoft XPS Document Writer」に印刷すると、文字化けする。

[API 機能関連]

- ・EHLLAPI で、「Copy String To Presentation Space(15)」を実行すると、ディスプレイセッションが応答しなくなることがある。
- ・EHLLAPI で、「Send File(90)」または「Receive File(91)」を実行すると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・EHLLAPI で、「Get Key(51)」の初回実行時の戻りコードが、関数の使用方法に問題がないにもかかわらず、"HARC_SYSTEM_ERROR"になることがある。
- ・EHLLAPI で、キー入力する前に、セッション・オプションに TWAIT を指定して「Get Key(51)」を実行すると、Microsoft Visual C++ Runtime Library の Runtime Error が発生する。
- ・EHLLAPI で、「Get Request Completion(125)」を実行すると、"TPCSHL32.DLL"のアプリケーションエラーが発生することがある。

以 上

2007年 9月28日

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

DirectLink HNALAN対応版
560 / 20エミュレータ
バージョン 3.50 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「DirectLink HNALAN対応版 560 / 20エミュレータ」(Ver.3.01-02->Ver.3.50-01)において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

概要

- ・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

自動起動が設定されていない端末でのインストーラ起動モジュールを"SETUP.EXE"に変更しました。

[ユーティリティ関連]

エミュレータ保守ユーティリティのアイコンを変更しました。

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[ユーティリティ関連]

- ・インストールされている全プリンタ名の合計が 4096 バイトを超える場合に、エミュレータのプロパティのディプリンタ定義の“出力先”リストに全プリンタ名が表示されない。

以上

DirectLink HNALAN対応版
560 / 20エミュレータ
バージョン 3.01 リビジョン02 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「DirectLink HNALAN対応版 560 / 20エミュレータ」(Ver.2.07-02->Ver.3.01-02)において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

概要

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

◎NEC PC-9800シリーズが対応パーソナルコンピュータから除かれました。
これにより、エミュレータのプロパティのシステム設定から「キーボード種別」の設定を削除しました。

◎以下のOSに対応しました。

- ・Windows XP Professional x64 Edition
- ・Windows Vista Business
- ・Windows Vista Business x64 Edition
- ・Windows Vista Enterprise
- ・Windows Vista Enterprise x64 Edition
- ・Windows Vista Ultimate
- ・Windows Vista Ultimate x64 Edition

◎以下のOSが動作対象から除かれました。

- ・Windows 95 Operating System
- ・Windows 98
- ・Windows Millennium Edition
- ・Windows NT 3.51 Workstation
- ・Windows NT Workstation Operating System Version 4.0

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

◎エミュレータのプロパティ、プリントジョブスケジューラ、マクロコントローラを使用させないように設定できるようにしました。

[ディスプレイ機能関連]

◎「コピー」「コピー追加」の実行時に、改行コードを付加するようにしました。

[ユーティリティ関連]

◎エミュレータのプロパティのシステム設定タブのセッション設定をセッション設定タブに移動し、複数のセッションに対しまとめて設定できるようにしました。

[オンラインリファレンス関連]

- ◎リファレンスマニュアル、および状況依存ヘルプをWindowsヘルプ形式からHTMLヘルプ形式に変更しました。

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[システム全般]

- ・デュアルCPUやハイパースレッドのマシンで、排他制御に問題があり、リソースが解放されない。

[ディスプレイ機能関連]

- ・ディスプレイセッション起動時やファイル転送パネル起動時に、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・連続データを受信すると、システムロックのままになることがある。
- ・印刷中に、マクロがアサインされているキーを押すと、“指定対象は使用されています”と表示される。
- ・ホットスポット機能を使用していると、マウスによるカーソル移動ができない。

[プリンタ機能関連]

- ・ローカルコピーを行うと、ハングアップすることがある。
- ・デュアルCPUやハイパースレッドのマシンで印刷要求を行うと、フリーズやアプリケーションエラーが発生することがある。
- ・大量に印刷すると、ページ抜けや行ズレが発生することがある。
- ・プリンタセッションの終了に時間が掛かることがある。

[ユーティリティ関連]

- ・コードテーブルに誤りがありました。

[EHLLAPI/PCSAPI機能関連]

- ・EHLLAPIで、NORESETオプションを指定して「Send Key (3)」を実行すると、入力禁止状態の取消ができなくなる。
- ・PCSAPIの「pccControlPrnSessionEx」が機能しない。

[IWS関連]

- ・マクロコマンド「window top」で、全ウィンドウの前に配置できないことがある。

[制限事項]

[EHLLAPI/PCSAPI機能関連]

- ・64ビット用SDKの提供はありません。

以上